



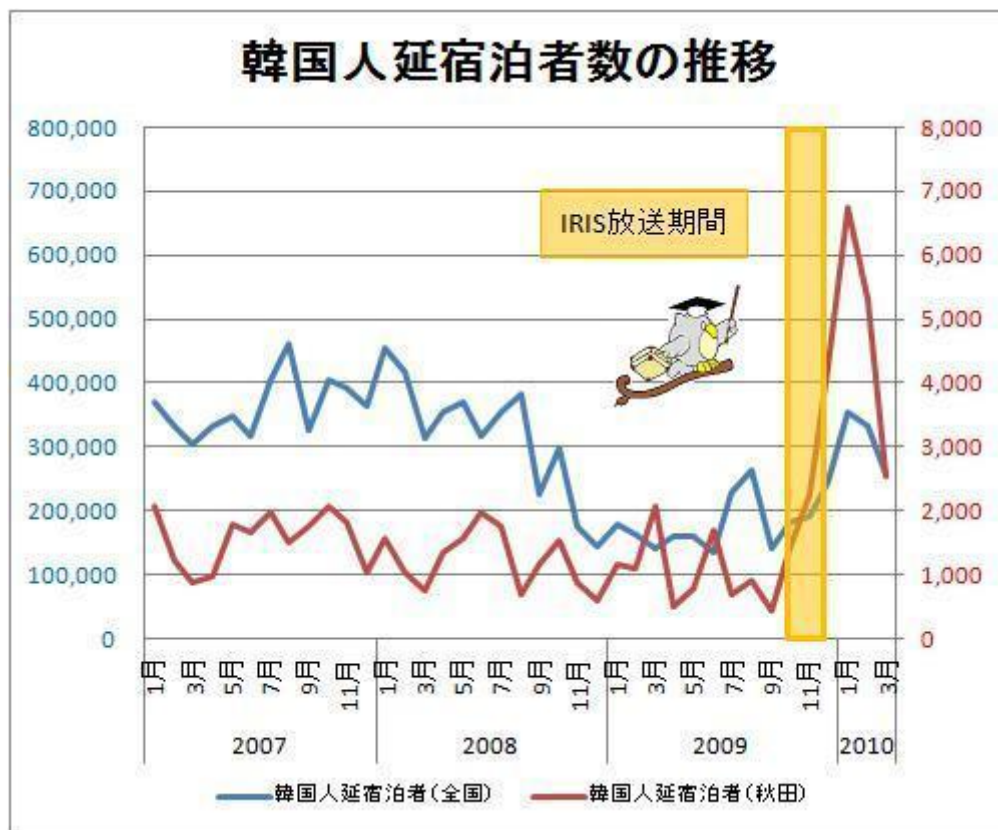
第2回 宿泊旅行統計で見る「IRIS 効果」

皆さんは、「IRIS（アイリス）効果」ってご存知ですか？韓国で大ヒットしたドラマ「アイリス」、そのロケ地のひとつとして秋田県が入っていたことから、普段はほとんど見られなかった韓国人旅行者が大勢訪れるようになりました。地元秋田県では、これを「アイリス効果」と呼んで、継続的に来ていただけるよう様々な取組をしています。

今回は、宿泊旅行統計を使って、実際にどれくらいの効果があったのかを見てみましょう。

宿泊旅行統計とは、全国の宿泊施設を利用した宿泊者数について取りまとめたものです。宿泊者の国籍も把握していますので、国ごとの宿泊者数を見ることができます。

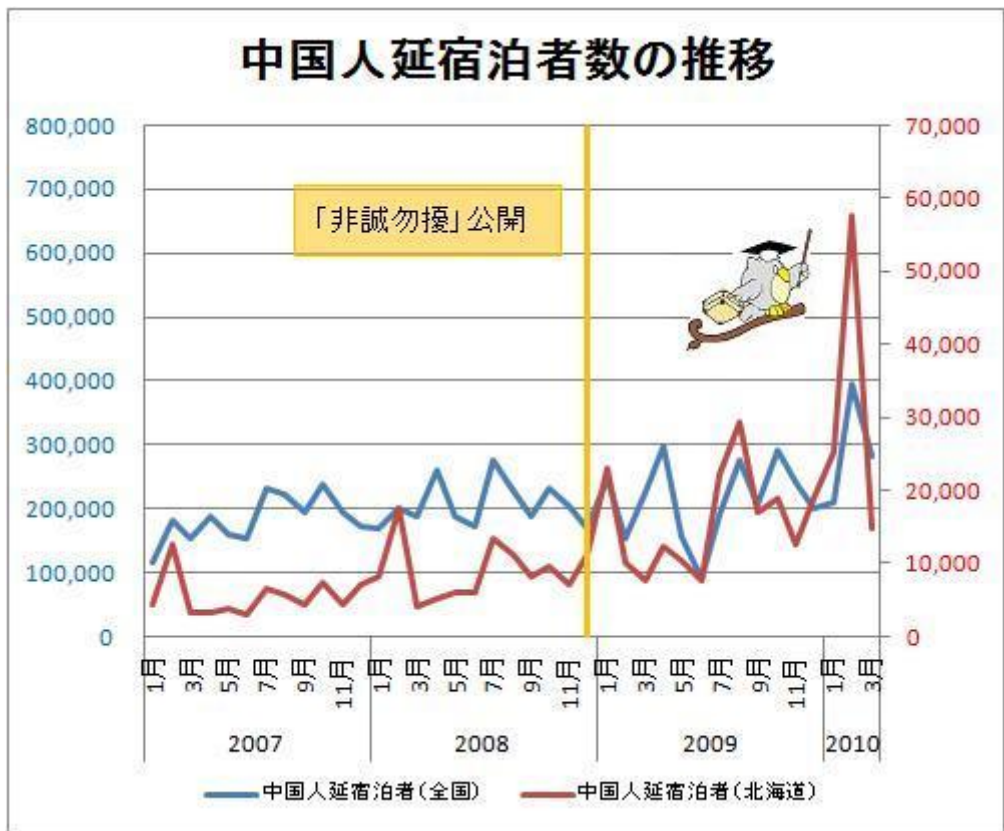
図1は、統計を取り始めた2007年以降の韓国人宿泊者数の推移をまとめたものです。青い線が日本全体の韓国人延べ宿泊者数（左軸）、赤い線が秋田県の韓国人延べ宿泊者数（右軸）を表しています。



韓国人延べ宿泊者数の推移

韓国でアイリスが放送されたのは2009年10月～12月。グラフにオレンジ色の枠で示しました。ご覧のとおり、秋田県の韓国人延べ宿泊者数は、2009年11月頃より飛躍的に増加しています。韓国では、例年1～2月に旧正月という一大休暇を迎えるので、この時期の旅行者は増加傾向にあるのですが、それを考慮しても秋田県の増え方は驚異的です。この効果を継続的なものにできるかどうか、今後も注目です。

もうひとつ、今度は映画の効果を見てみましょう。図2は、中国人延べ宿泊者数の推移について、日本全体(青、左軸)、北海道(赤、右軸)を表したものです。中国では2008年の12月に、北海道の道東地区をロケ地を含む「非誠勿擾(フェイチンウーラオ、邦題:狙った恋の落とし方)」が公開されました。これが空前のヒットとなり、これまでほとんど中国人観光客のいなかった道東地区を始めとして、徐々に北海道を訪れる中国人が増えてきました。これにより、北海道の魅力が中国にも広まり、2009年7月の個人ビザ発給要件緩和の後押しもあって、2010年の冬(春節)の延べ宿泊者数は大幅に増加しています。



中国人延べ宿泊者数の推移

このように、映像作品をきっかけに観光地がブレイクする現象を、最近では「スクリーン・ツーリズム」と呼んでいます。映像による集客効果は一過性になりやすい傾向があるので、いかにリピーターにつなげるかが今後の課題となりそうです。

観光庁でも、映像が観光に与える影響力に注目し、今年度から観光・旅行をテーマとしたショートフィルム(短編映像)の募集・表彰を実施しています。詳しくはコチラへ。今後の取組にもご期待ください。

宿泊旅行統計では、県ごとに月別の宿泊者数を把握することができますので、〇〇県で撮影されたあの映画の影響は?とか、朝ドラの舞台になったことで観光客は増えたのかな?といったことを調べることができます。ぜひ、お住まいの地域についても見てみてください。そして、データの意味や使い方でわからないことがありましたら、お気軽に統計担当までお問い合わせください。

今回のコラムで使用した統計は...宿泊旅行統計

【執筆者】 観光庁 観光担当経済参事官付 主査 嶋村竜太

このページに関するお問い合わせ

観光庁観光経済担当参事官室

代表 03-5253-8111(内線 27-213)